

キャラクター名
藤崎 晴人

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ オルクス		ワークス	FHエージェントA	カヴァー	不良
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	恐怖	初期侵食率	34	%
出自	結社の一員	経験	犯罪	邂逅	【→欲望】復讐	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	10
感覚	4		0			4	(非装備時)	10
精神	2		0			2	戦闘移動	15
社会	2		0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ポルトアクションライフル	射撃	4r+2	-	8		マイナー使用で命中達成値+5、同インゲージ対象不可
100以下	射撃	7r+7	-	8		C値8、対象3体、対象ドッチ-1D
100以上	射撃	13r+7	-	40		C値7、対象3体、対象ドッチ-2D

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
ウェポンケース	

合計装甲: 1 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
"対抗種(カウンターレネゲイド)"	P	N		
藤崎 雪	P 遺志	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセイトレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv(下限値7)								
要の陣形	3	3	メジャー	-	3体	シンドローム	-	
効果: 対象を3体に変更。シナリオLv回								
形なき剣	1	2	メジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果: 対象のドッチダイス-Lv個								
天からの眼	3	2	メジャー	-	-	射撃	-	
効果: 判定ダイス+Lv								
マスヴィジョン	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	100	
効果: 攻撃力+Lv*5、1シナリオ3回								
完全なる世界	3	5	メジャー	-	-	シンドローム	100	
効果: ダイス+Lv+1個、攻撃力+Lv*3								
力の法則	1	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果: 対象のDRに+[Lv+1]D、自身対象不可、ラウンド1回								
七色の直感	1	-	メジャー	視界	単体	-	-	
効果: 対象のオーラから感情や容態を読み取る								
不可視の領域	1	-	メジャー	至近	効果	-	-	
効果: Lv*1000平方メートルの領域を知覚できないよう隠匿する(見えてはいる)								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ふじさき はると

出自はUGNでもFHでもないとする秘密犯罪結社。劣悪な環境の中、親の希望も虚しく悪の道へ突き進む……だが根の部分は割と純粋ある日"組織"による襲撃を受け結社は崩壊、親を失う。その際、怒りと共にオーヴァードへと目覚めたが一人では抵抗しきれず……FHという組織の基地で目を覚ますことになった。組織の気配は……どこか結社のそれによく似ていた。ゆく宛もなく、ある程度指令にさえ従えばかなり自由に動ける環境の為、エージェントとして所属することになったあの日結社を襲った組織はUGNだとFHの者達は言うが……真相は定かではない。いつか復讐を果たすため、今は力を蓄える時だ

能力的特徴から破壊任務や対象の始末に駆り出されることが多く、そこで一定の成果を上げそれなりに評価されている。あくまで捨て駒としての評価ではしかないのだが

Dロイスについて
レネゲイドを知らない状態からオーヴァードに襲われた為、レネゲイドに対して強い忌避感を持った。また覚醒してからは一人での抵抗だった為、それを耐え抜くために急速に変異が進み……対オーヴァードに特化したレネゲイドが形成された